

公共交通(バス停)について

西田 穰 (地域計画研究所)

『都内基礎自治体データブック』は、自治体の政策立案の情報として使えるように、毎年データを更新すると共に、指標の見直しを行っているが、今回は「バス停数」というデータを作成した。作成に当たっては、バス停やバス路線の検索サイト（「バス停探索」：国土数値地図 2010 データを使用）を使わせていただいた。

高齢化の問題（買い物難民など）、地球温暖化対策（CO₂ 排出量の削減）などで、公共交通機関、特に身近なバスの重要性が指摘されている。バス停の数だけで交通利便性を評価する事は出来ないが、このデータによる都内の自治体の比較を試みた。

バス停は一般に 250m～500m 間隔で設置されているが、高齢者にとって歩く距離が短ければ短いほど楽であるし、一般の人もすぐ乗れるバス停があれば利用率が高まるであろう。バス停の間隔（距離）と密度（数/km²）には表 1 の関係がある。

表1 バス停密度と間隔

バス停間隔	バス停数/km ²
200m	25
250m	16
330m	9
500m	4

都内でバス停密度が一番高い都市は武蔵野市（19.4）で、120m程度歩くと停留所がある事になる。次いで、台東区（15.8）、中央区（13.0）と渋谷区（12.8）、千代田区（11.6）、港区（11.0）などの密度が高く、区部はほぼ 300～400m間隔の所が多い。多摩地域は、都市の性格によ

り 300m 前後の所と 500m 前後の所に分かれるが、比較的小さな都市の整備密度が高い。

コンパクトなまちづくりを研究されている筑波大学の谷口守教授の研究では、バス停の密度と自動車燃料消費量（≒CO₂ 排出量）の関係（逆相関）は鉄道以上に大きく、LRT を含めた身近なバスの整備が低炭素都市づくりに有効だというデータもある。

表2 自動車燃料消費量とバス停密度

市街地のタイプ	燃料消費量 (1人1日)	バス停密度 (箇所/km ²)
商業地(L)	441.4	19.6
住宅地(J)	614.1	11.3
住宅地(D)	898.8	9.7
郊外(A)	1221.3	3.4

* 筑波大学 谷口守教授:PT 調査の分析結果

バスの利便性には、本数（運行間隔）や渋滞情報などの運行情報が重要である。昔は、バス停の時刻表（特に、高齢者や障害者向けに低床バスの時刻表）を収集しインターネットに上げる NPO 活動などもあった。今は、ほとんどのバス会社が路線・バス停位置や時刻表、運行情報を携帯端末でも見られるサービスをしている。

ただ、バス路線図は多くが会社別に作成されている。それをカバーするために、市民が中心になって、行政やバス会社の協力を得て、地域総合版（バスルートマップ）をつくってきた。彼らは、毎年“バスサミッ

ト”を開き、活動の PR と情報交換をしている。路線図だけではなく、地域情報を入れた、見ても楽しい MAP を作成している都市（グループ）も少なくない。東京周辺については、下記のサイトでかなり広範囲な総合バス路線図を見る事が出来る。

なお、近年、（社）東京バス協会が運営する「東京バス案内 WEB」がつくられ、各社のデータを統合したバス路線や時刻表の検索ができるようになったが、路線図としては“バスマップ”の方が優れていると思う。

*バスマップについては下記を参照

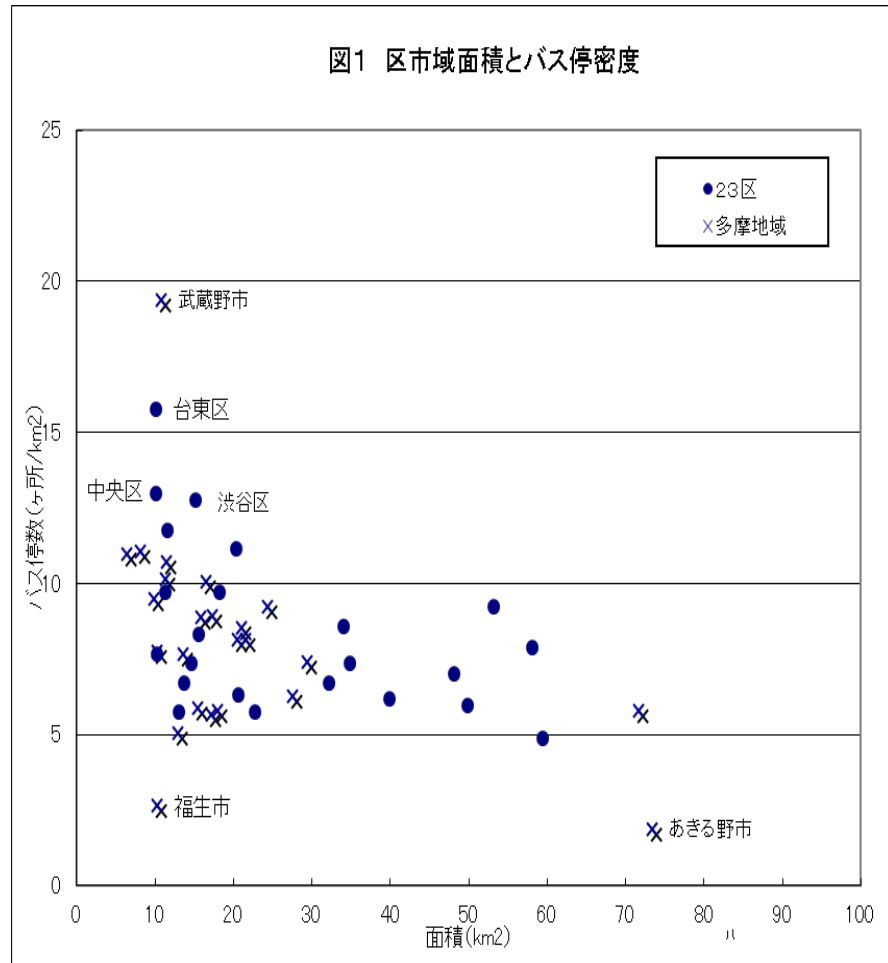
・全国バスサミットHP：<http://www.rosenzu.com/busmap/>

・東京周辺 バスサービスマップ：<http://www.geocities.jp/busservicemap/index.html>

*神奈川、千葉、埼玉についても、各県のバス協会が同様のシステムを整備している。

武蔵野市の“ムーバス”が有名であるが、都内の多くの区市がコミュニティバスの運行をしている。運行自治体数は 42 区市（この他豊島区が検討中）、総路線数は 152 路線（平均路線数 3.6）である。路線数が一番多いのは足立区の 12 路線、次いで、港区・武蔵野市の 8 路線、世田谷区等 4 区市の 7 路線となっている。

ムーバスは 1995 年暮れにスタートしたが、武蔵野市ではバス停から 300 メートル以遠の地域を“交通空白地域”、バス停から 300 メートル以内でもバスの便が少ない地域を“交通不便地域”として、高齢者や小さな子連れの方をはじめ、多くの人が気軽に安全にまちな出られるようにすることを目的にコミュニティバス路線を整備している。都内は地区の幹線道路の整備が進まず、大型バスが走れる道が少ないため、需要はあっても路線のない“交通空白地域”が多く、小型バス+路線設置条件の緩和によるコミュニティバスの整備効果は非常に高い。先述したバス



マップをお借りして、杉並区のコミュニティバス1号路線（“すぎ丸”
 けやき路線）の様子を見たものが図2である。

表3 コミュニティバス路線数

路線数	自治体数	備考
12	1	足立区
8	2	港区、武蔵野市
7	4	世田谷区、三鷹市、府中市、日野市
6	1	
5	2	
4	7	
3	9	
2	9	
1	7	
小計	42	総路線数 152
未設置	7	豊島区が検討中

図2 「バスマップ」の例 -杉並区荻窪付近-



(出典) バスサービスマップ「東京・千葉・神奈川・埼玉のバス路線図」より一部
 抽出